

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

SUGINO Japan Mobility Show 2023出展

主催者プログラム「Tokyo Future Tour」内 「EMERGENCY & MOBILITY ゾーン」に クローラ式小型作業ロボットのデモ公開

災害や復興に活躍する クローラ式小型ロボット

株式会社スギノマシン(富山県滑川市、社長：杉野 良暁氏)は、10月28日(土)～11月5日(日)に東京ビッグサイトで一般公開される「Japan Mobility Show 2023」(主催：一般社団法人日本自動車工業会、旧：東京モーターショー)に出展する。

同展では主催者プログラム「Tokyo Future Tour(東京フューチャーツアー)」内にある「EMERGENCY & MOBILITY ゾーン」の演出に同社のクローラ式小型作業ロボットを展示。未来の災害救助や復興の様子を、デモを交えて紹介する。

近未来の社会を支える 新製品・新技術が結集

新生JAPAN MOBILITY SHOW 2023は、旧東京モーターショーが時代の要請に応え、自動車業界の枠を超えて他産業やスタートアップ、来場者を含め、日本の未来を新しい仲間とともに創出していくExhibitionショーとして名称を変更して開催。参加社数も前回開催のTOKYO MOTOR SHOW 2019の192社を大きく上回る過去最高の475社を越え、自動車業界だけでなく、他産業

やスタートアップが多数参加し、フルモデルチェンジを通し“未来のクルマと社会”を体現する企画を多数実施する。

■展示会概要

- ◇名称：Japan Mobility Show 2023
- ◇会期：一般公開→2023年10月28日(土)～11月5日(日)
- ◇会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)
- ◇展示ゾーン：西 1-2 ホール
- ※スギノマシンのクローラ式小型作業ロボットは、西 1-2 ホールで開催される「Tokyo Future Tour」の「EMERGENCY & MOBILITY ゾーン」に展示する。

◇公式サイト：<https://www.japan-mobility-show.com/>

自社開発クローラ式 小型作業ロボット

ズキノマシンが自社開発した「クローラ式小型作業ロボット」は、最大荷重100kgの重量物を持ち上げ可能で、遠隔操作で狭隙部の作業が可能なクローラタイプの小型作業用ロボット。クローラタイプの移動機構に多関節アームを搭載する。人が作業できないエリアでの移動が可能なほか、がれきの撤去や

Japan Mobility Show



暗所など、過酷な環境下での作業にハイパフォーマンスを発揮する。

クローラ式小型 作業ロボット特長

展示するクローラ式小型作業ロボットは、狭隙部・特殊環境下での遠隔作業が可能。幅80cm、高さ105cmとコンパクトで、制御通信に無線LANを使用し、バッテリー搭載で完全無線化も可能にする。

悪環境での 高い動作性

同ロボットは、クローラ台車の前輪にフリッパーを搭載し、重作業時の転倒防止と20cmの段差を乗り越えること

ができる。転倒状態からロボット自身で起き上がることが可能なほか、アーム旋回部にはトルク保護機構を搭載し、装置転倒時のアーム破損を軽減する。

高い作業性

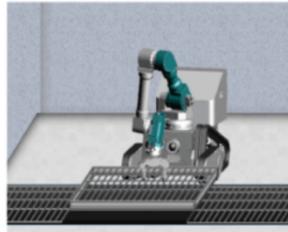
アーム5軸+ハンド1軸で自由な動きが可能のほか、最大可搬重量100kgで重量物に対応する(アーム伸長時：50kg) AC100V対応。アームが3軸同時制御のため、ハンドの先端教示で容易にアームを操作可能なほか、コントローラにジョイスティックを使用し、直感的に操作速度を調節できる。

※同ロボットの詳細は下記アドレスを参照。
(※資料提供：スギノマシン)

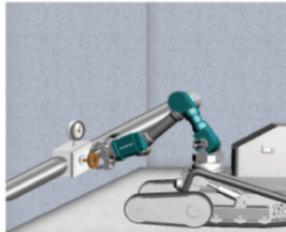
がれき撤去



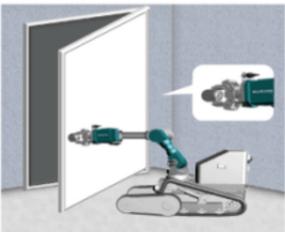
グレーチング設置・撤去



バルブの開閉



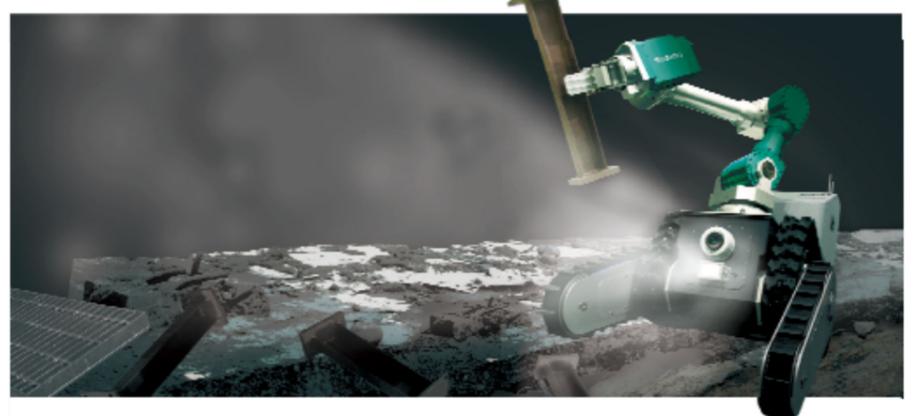
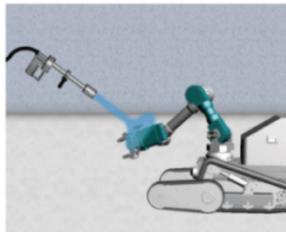
扉開放



暗闇走行



洗浄可(防水)



■クローラ式小型作業ロボットの詳細：<https://www.sugino.com/soshiki/1/crawler-robot.html>
■スギノマシンURL→<https://www.sugino.com/>